

科目名 Course Name	レクリエーションアクティビティーⅡ Recreation Activity II			ナンバリング No.	I2-012		
年次	1年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	吉田 志保						
連絡方法	C-ラーニングで対応。または福祉棟3階研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(レクリエーションインストラクター資格申請に必要な科目)						
関連DP	DP2、DP3、DP5						
授業の概要と到達目標	様々なレクリエーション財(素材)を実際に体験し、その楽しさをどのような支援の形にしていくのが良いのかを学ぶ。 人々への日常的な楽しさや心地よさを提供する支援者としての役割を説明できる。						
授業の方法	実技とグループワークを中心に行う。また、スキルアップのため覚えたアクティビティを常に指導の場を意識しながら進めていく。人前での模擬指導も実施する。						
学習成果	L01						
	L02	対象者に応じたレクリエーションプログラムが作成できる。					
	L03	レクリエーション支援についての基本技術を実践することができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	レクリエーション実技については、授業内で随時フィードバックをおこなう。						
教科書/参考図書	日本レクリエーション協会 『楽しさをとおした心の元気づくり』～レクリエーション支援の理論と方法～						
履修上の留意点やルール等	事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回180分とする。(演習は45分) 実技が多いため、服装や身だしなみに注意すること。体育館で行う際は食べ物禁止。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	レクリエーションの演習では積極的に参加する。またグループワークでは、積極的に発言をしたり、コミュニケーションをとる。		20		
レポート/作品	毎回の振り返りシートに記入されている内容を評価。		20		
発表	アクティビティを選択し、模擬指導を行う。			60	
小テスト					
試験					
その他					
合 計			40	60	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス 授業の進め方、成績評価などの説明 レクリエーション支援の実施① 評価に基づくプログラムの改善
	事前・事後学習	前期の授業を振り、レクリエーションとは何かをワークシートに記入する。
2	授業内容	レクリエーション支援の実施② 評価に基づくプログラムの改善
	事前・事後学習	演習でおこなったレクリエーションについての振り返りを記入する。
3	授業内容	モデルプログラムの習得① 介護予防・音楽レク
	事前・事後学習	高齢者が生きてきた時代に流行った音楽をピックアップし用紙にまとめる。
4	授業内容	モデルプログラムの習得② 幼児や児童を対象としたアクティビティ
	事前・事後学習	子どもに対するレクリエーションをおこなう際の留意点についてまとめる。
5	授業内容	個々の活動の習得① 歌
	事前・事後学習	演習でおこなったレクリエーションについての振り返りを記入する。
6	授業内容	個々の活動の習得② ダンス
	事前・事後学習	演習でおこなったレクリエーションについての振り返りを記入する。
7	授業内容	個々の活動の習得③ クラフト
	事前・事後学習	演習でおこなったレクリエーションについての振り返りを記入する。
8	授業内容	個々の活動の習得④ ウォークラリー①
	事前・事後学習	演習でおこなったレクリエーションについての振り返りを記入する。
9	授業内容	個々の活動の習得⑤ ウォークラリー②
	事前・事後学習	演習でおこなったレクリエーションについての振り返りを記入する。
10	授業内容	個々の活動の習得⑥ 季節のイベントづくり
	事前・事後学習	季節のイベントについて企画書を作成する。
11	授業内容	個々の活動の習得⑦ 季節のイベントづくり
	事前・事後学習	季節のイベントについて企画書を修正する。
12	授業内容	個々の活動の習得⑧ 総合演習 模擬指導①
	事前・事後学習	自分や他者が行ったレクリエーションについて、振り返りを記入する。
13	授業内容	個々の活動の習得⑨ 総合演習 模擬指導②
	事前・事後学習	自分や他者が行ったレクリエーションについて、振り返りを記入する。
14	授業内容	個々の活動の習得⑩ 総合演習 模擬指導③
	事前・事後学習	自分や他者が行ったレクリエーションについて、振り返りを記入する。
15	授業内容	振り返り、まとめ